



興部高校 C・S 通信

令和2年 12月 1日発行 第5号

第2回学校運営協議会報告

令和2年度第2回目学校運営協議会を 11月26日（木）に開催しました。事務局より学校運営の取組状況中間報告の後、今後の学校運営取組、特に「興部町民と語ろう」について説明し、各運営委員から了承されました。

その後、教員における学校評価（自己評価）をふまえ、今後の学校・地域における課題・改善協議をおこないました。各委員が6つの質問を取組シートに記入後、各部局に分かれて興部町と高校が今後どのようにあるべきか活発な意見を述べ合い、次のとおり、情報を共有し閉会しました。



＜目指す学校像＞

生徒…個を生かす少人数教育によって進路が実現できる学校。
興部町…地元愛を育て、地元で活躍できる人材を育成する学校。
地域行事などを通して住民が親しみをもてる学校。

＜高校の現状＞

- 【強み】
- ・礼儀正しい生徒
- 【特長】
- ・生徒一人一人に寄り添える教育活動
- 【課題】
- ・教員と時間の不足
- ・アピール力
- ・競争心の低さ

＜強化すべき高校の取組＞

- ・地域の歴史や産業などの総合的な探究活動
- ・チーズなどの製品作り
- ・6次産業の探究
- ・インターンシップなどの体験活動

＜興部町の教育資源＞

- ・災害の少ない自然
- ・酪農・漁業に基づいた製造・販売・サービスなどの発達した第6次産業
- ・バイオガスプラントなどの施設
- ・地域で活躍している人材

伸長
改善

活用

高校 地域

＜理想的関係＞

～地域と高校がWinWin～
例）高齢者（長寿大学）と高校生との触れ合い
町民全員が生徒にとっての先生
地域全域が生徒にとってのキャンパス

＜コミュニティスクールの関わり＞

- ＜広報部＞町のHPに高校のHPをリンク
- ＜支援部＞小中高を見通した教育、外部人材を活用した部活動支援
- ＜応援部＞生徒が地域で働く意識向上に向けた取組